

Dブロック冬季大会 大会実施上の規定

この大会は、日本バドミントン協会現行競技規則、大会運営規則、都中体連バドミントン部の大会実施上の規定に基づいて行われます。下記のことに注意し、違反のないように十分注意して試合や応援に臨んでください。

【出場条件】

本大会は、日本バドミントン協会・東京都バドミントン協会の登録をしている生徒が出場できます。

【試合】

- (1) 試合は常にフェアプレーを心がけ、行動を速やかに、また、相手や会場に不快の念を抱かせないようにする。
- (2) 今大会は、試合数が多いため
 - ・全ての種目ベスト8決めまでの試合は、15点ゲーム（セティングの場合は、21点まで行う。インターバルは、各ゲーム間に120秒のインターバルが認められる。）
 - ・ベスト8以上の試合・順位決定戦の試合は、各ゲーム間に120秒以内、各ゲームどちらかが11点に達したとき、60秒以内のインターバルが認められる。インターバルでは、監督・外部指導員・助言者から競技区域内でアドバイスを受けることができる。なお、インターバル以外でのアドバイスは認めない。
- (3) 汗ふき及び水分補給が必要な場合は、主審の許可を得る。ただし、水分補給はフロアでの水分補給が認められている場合のみとし、入れ物はフタの閉められるものとする。
- (4) インターバルを除いて、選手は主審の許可なくコートを離れることはできない。

【服装】

- (1) 頭髪、服装は大会の品位を損なわないものとし、さっぱり整える。服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。東京都中学校体育連盟バドミントン部認定のウェア（関東記念ウェア）、白単色の襟付きについては、着用を認める。
- (2) ソックスについては白を基調としたものとする。
- (3) シャツの背中に学校名入りのマークをしっかりとつける。マークは縦15cm、横30cmの中に、黒または紺色の日本文字、楷書で学校名を記入したものとする。校名の下に個人名、又は地区名を入れてもよい。マークの色は、黒または紺色でプリントした場合に、見えにくい場合は白色での印刷も可とする。
- (4) シャツのすそは、短パン、スカートの中に入れる。

【応援・会場使用】

- (1) 応援は拍手のみを原則とし、会場全体の試合の妨げにならないようにする。また、試合中の選手に声をかけたり、アドバイスをしてはならない。
- (2) 空いたコートを勝手に使用しない。また、試合中のコートに入ったり、線審の前を横切るなど、試合の進行を妨げるような行為をしない。
- (3) 体育館ばき各自で用意し、下履との区別をはっきりさせる。
- (4) 指定された場所以外には、絶対に立ち入らない。
- (5) カン・ビン類、菓子類は一切持ち込まない。
- (6) 昼食は指定された場所でとる。ゴミは必ず持ち帰り、会場やその周辺には残さない。
- (7) 更衣室は更衣だけに使用し、荷物を放置しない。特に貴重品は各自が管理し盗難を防ぐ。また、ラケットを間違えられたり、紛失しないように注意する。
- (8) その他、会場の使用にあたっては、会場の規定及び本部の指示に従う。

【審判】

- (1) 特に定められた場合を除き、試合に負けた学校の生徒は、ただちに本部に行き、審判用具、シャトルを受け取り、本部の指定する試合の審判（主審・線審・得点表示）を担当する。
- (2) 審判は厳正に、てきぱきと行う。疑問は本部に問い合わせる。
- (3) 線審は一カ所に一名のみ着席し、明確に判定をする。
- (4) 試合終了後はすぐに本部に用具（シャトルも）を返し、結果を報告する。

【その他】

- (1) 試合時間、コートなどが変更される場合があるので、常に進行の状況や、放送に注意する。
- (2) 本部の指示に注意し、ただちに指示通りに行動する。
- (3) その他、不明の点、疑問などは本部に問い合わせる。